

特別展

平山郁夫展

—その旅路を辿る—

令和4年

8月6日(土)

~9月25日(日)

休館日：毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は翌平日）

開館時間：午前10時~午後5時30分（入館は午後5時まで）

観覧料：一般1200円（960円）、高校・大学生500円（400円）

中学生以下300円（240円）※（ ）内は20人以上の団体の場合

会場：奈良県立万葉文化館 日本画展示室

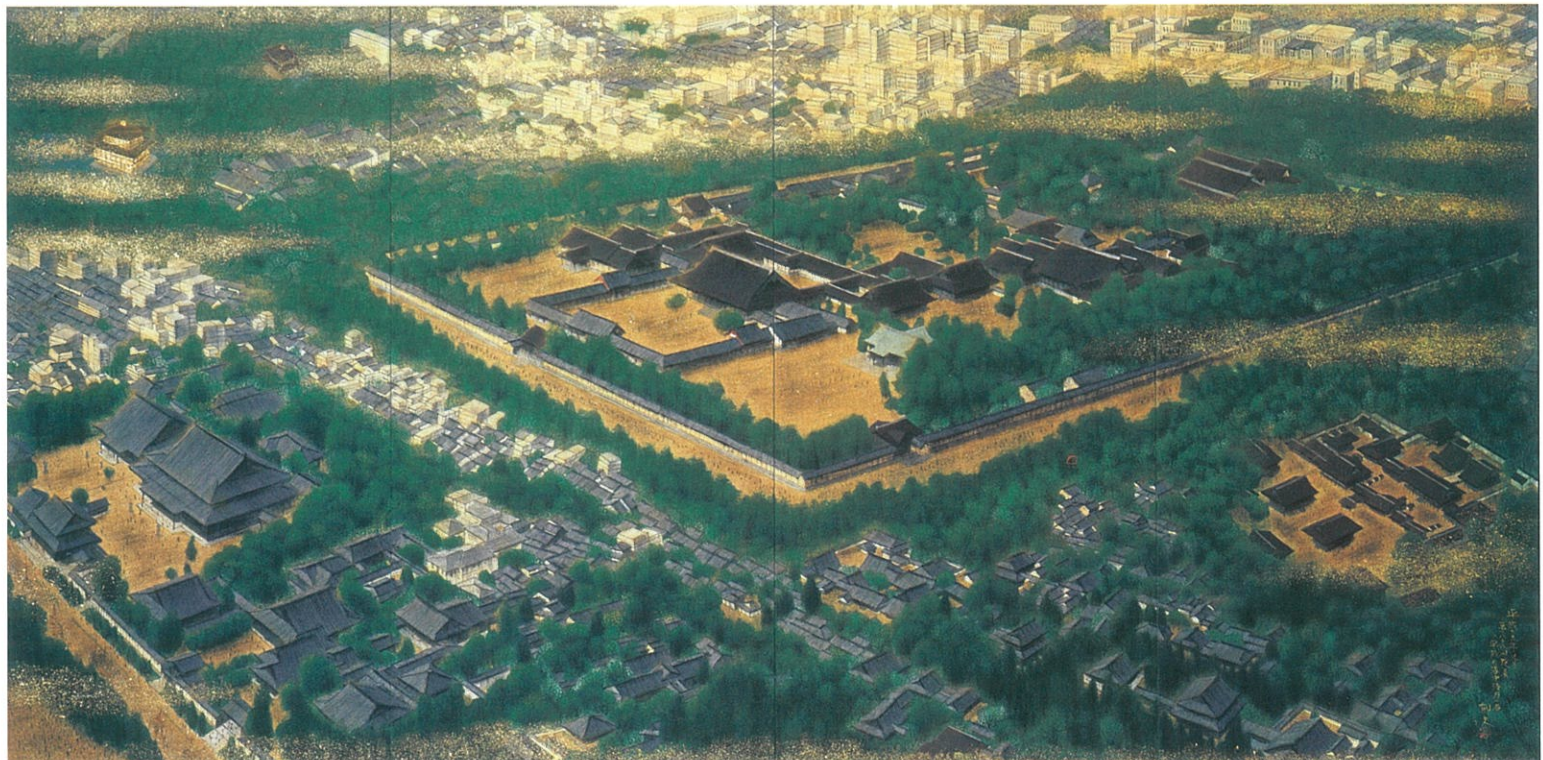
主催：奈良県立万葉文化館

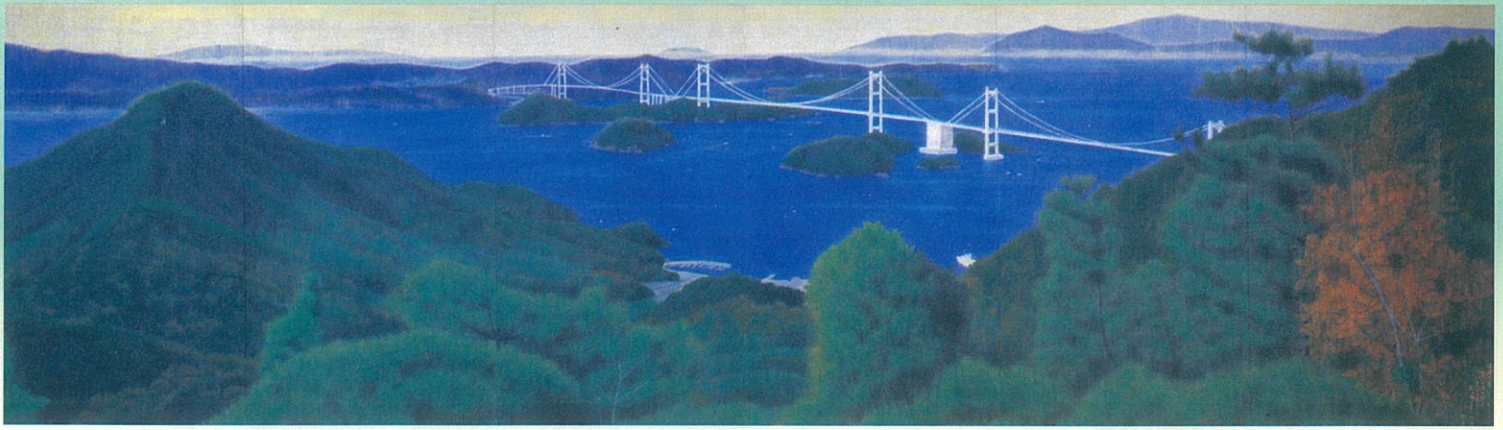
協力：公益財団法人平山郁夫美術館

公益財団法人平山郁夫シルクロード美術館



奈良県立万葉文化館





《天かける白い橋 瀬戸内しまなみ海道》2000年 平山郁夫美術館蔵

特別展 平山郁夫展

—その旅路を辿る—



《バミール高原を行くロバに乗る自画像》
1991年 平山郁夫シルクロード美術館蔵

このたび、奈良県立万葉文化館では、当館が所蔵する「万葉日本画」の制作者のひとりでもある平山郁夫（1930 - 2009）を取り上げた展覧会を開催します。

平山郁夫は、広島県瀬戸田町（現・尾道市）に生まれました。15歳のときに広島市内で被爆し、九死に一生を得ました。一命を取り留めた後は、大叔父の清水南山のもとから県立忠海中学校に通いました。平山はこの大叔父のすすめで日本画の道へと進みました。

生涯をかけて、己が育った広島の風景、平和への祈り、シルクロード、そしてその終着地点である日本の古都を絵のテーマとして追求しました。

本展では、平山郁夫とその芸術の原点である故郷の瀬戸内や、半世紀に及ぶ画業において転機となった仏教美術と出会った奈良・京都の地を、平山郁夫の作品と詞とともに振り返ります。

また、平山郁夫芸術の集大成ともいえる記念碑的大事業であった奈良・薬師寺玄奘三蔵院の大唐西域壁画の天下図を展示することで、過酷なシルクロードの旅を芸術へと昇華した平山郁夫の芸術の真髄を体感できる展覧会となっています。



《原爆ドーム》1991年
平山郁夫シルクロード美術館蔵



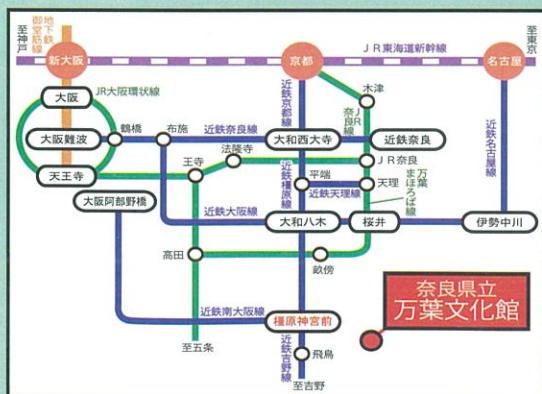
《向上寺三重塔 向上寺山より》
大三島・高根島を眺望》1999年
平山郁夫美術館蔵



《薬師寺月光（版画）》1997年 平山郁夫美術館蔵

表面上部作品：《平成洛中洛外》（左隻）2004年 平山郁夫シルクロード美術館蔵
表面下部作品：《平成の洛中洛外》（右隻）2003年 平山郁夫シルクロード美術館蔵

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、ご来館の際はマスクの着用をお願いします。
※今後の新型コロナウイルス感染状況により、イベントを変更・中止する場合がございます。



交通案内

- 近鉄橿原神宮前駅東口または飛鳥駅よりバス（約20分）→万葉文化館西口下車すぐ【奈良交通バス案内】お客様サービスセンター TEL：0742-20-3100
 - 近鉄橿原神宮前駅東口または飛鳥駅よりタクシー（約10分）
 - 西名阪自動車道天理インターまたは柏原インターから車で40分
 - 南阪奈道路葛城インターから車で30分
- 駐車場には限りがありますので、ご来館には出来るだけ公共交通機関をご利用ください。

【関連イベント】

記念講演会「求道の画家 平山郁夫」事前申込/無料

日時：令和4年8月6日（土）午後2時～（90分間）
講師：幸野 昌賢氏

（公益財団法人平山郁夫美術館 学芸員）

◆申込方法◆ **申込締切 7月22日（金）必着**

往復はがきまたは専用申込フォーム

- ・往復はがき…郵便番号・住所・氏名・電話番号・「記念講演会参加希望」と明記の上、締切日までに下記の宛先までお申し込みください。※往復はがき1通につき1名様のみいたします。
- ・専用申込フォーム…万葉文化館ホームページの申込フォームから、必要事項を記入の上、締切日の17時までに申し込みください。



奈良県立万葉文化館

〒634-0103 奈良県高市郡明日香村飛鳥 10
TEL：0744-54-1850 FAX：0744-54-1852
H P：https://www.manyo.jp